



# 第43期 年次報告書

平成24年4月1日 ▶ 平成25年3月31日

palro®



富士ソフト 株式会社

# 「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつける イノベーション企業グループ」を目指して活動してまいります



代表取締役 会長執行役員      代表取締役 社長執行役員

野澤 宏      坂下 智保

株主の皆様には、平素格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第43期年次報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要を軸に回復基調を示してまいりましたが、依然として世界経済を巡る下振れリスクを払拭できず、先行き不透明な状態で推移いたしました。一方、昨年12月の政権交代以降、積極的な経済政策、金融政策への期待感から株価上昇や円安の進行等の動きが見られ、景況感の改善が見えはじめてまいりました。

当業界におきましては、長引く不況により抑えられていた投資の顕在化や、ビジネスのグローバル化に伴う経営効率化・強化への要求等もあり、IT投資への需要は底堅く推移してまいりました。

当社グループは、中期目標として「高付加価値事業構造への挑戦と創造」を掲げ、「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ」を目指し、「クラウド（ネット関連ビジネスを含む）」「ロボットテクノロジー」「モバイル（様々なネット接続デバイスを含む）」をキーワードに、関連する技術と業務ノウハウを組み合わせ、付加価値向上を実現するとともに、グローバル対応も強化してまいりました。

## 【第43期の取り組みと業績について】

### 付加価値向上 ～強みのある分野の施策強化～

従来より培ってきたモバイル、クラウド関連や通信関連等の先進ICT技術分野、あるいは、ネットビジネスや自動車、通信インフラ等の成長分野・需要拡大分野へ経営資源を優先的に割り当てることで、ビジネスを拡大してまいりました。併せて、案件の提案力・対応力、プロジェクトの管理能力を強化することにより、プライム化を推進してまいりました。さらに、既存のプラダクトにつきましては、当社オリジナルのWiFiルーターを新たに投入する等の各種施策を行ってまいりました。

一方、新たなプラダクト展開といたしましては、タブレット端末を使用した新たなビジネススタイルを実現すべく、当社独自のアプリケーション「moreNOTE」をスマートデバイス向けに販売し、各主要都市で活用セミナーを開催してまいりました。また、ICTを活用したスマートな授業運営を目指す「みらいスクールステーション（校内情報配信システム）」につきましては、神奈川県をはじめとする全国の教育機関に導入を進めてまいりました。当社開発のヒューマノイド・ロボット“PALRO”（パルロ）につきましては、介護福祉分野等への導入を進める中で、テレビ・ラジオ等の各種メディア媒体に取り上げられ、注目度が高まっております。

また、これらを着実に推進すべく、営業力の強化や生産性・品質向上に継続的に取り組み、さらに、在宅勤務制度の実施やスペシャリスト制度の強化、間接業務の見直しを行う等、効率的・効果的な業務推進体制の構築にも努めてまいりました。

### グループ戦略

平成24年7月31日に富士ソフトケーシーエス株式会社の全株式を売却し、平成24年10月1日には、富士ソフトサービスビューロ株式会社と富士ソフトSSS株式会社とを合併いたしました。さらに、ヴィンキュラム ジャパン株式会社と株式会社ヴィクスが合併し、平成25年4月1日より株式会社ヴィクスとしてスタートを切る等、さらなる付加価値の向上、ビジネス拡大を目指すため、選択と集中を推進してまいりました。

### グローバルビジネス

平成24年7月に当社がソウル支店を開設し、当社連結子会社

においても、サイバネットシステム株式会社が韓国、ヴィンキュラム ジャパン株式会社（現 株式会社ヴィクス）がマレーシアに子会社を設立し、ビジネスチャンスを広げるべく事業活動を開始いたしました。

### 第43期の業績について

売上高は1,382億11百万円（前年比3.2%増）となりました。また、販売費及び一般管理費を253億78百万円（前年比3.0%減）に圧縮し、営業利益は73億49百万円（前年比47.0%増）、経常利益は80億45百万円（前年比76.6%増）となりました。また、特別損失として、固定資産の減損損失を6億18百万円計上いたしました。その結果、当期純利益は40億2百万円（前年比134.9%増）となりました。平成25年3月期の期末配当金につきましては、通期業績の結果を踏まえ、1株あたり13円（前期同10円）とさせていただきます。

### 【今後の取り組みについて】

今後につきましては、中期方針である「高付加価値事業構造への挑戦と創造」をより一層推し進め、「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ」を目指して活動してまいります。既存事業分野における付加価値をさらに高めつつ、「クラウド（ネット関連ビジネスを含む）」「ロボットテクノロジー」「モバイル（様々なネット接続デバイスを含む）」をキーワードに、関連する技術と業務ノウハウを組み合わせ、プラダクト・サービス化を推進し、付加価値向上を実現するとともに、グローバル対応も強化してまいります。

当社の事業年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとなっておりますが、事業の繁忙期と決算事務手続き等の業務処理の重複を回避し、業績管理ならびに事業運営の効率化を目指すため、また、今後のグローバル対応の拡大を見据え、海外子会社と決算期を統一することによる適時・適正な経営情報の開示を徹底するため、当社の事業年度を毎年1月1日から12月31日までに変更いたします。

株主の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループとは

グローバル競争時代を勝ち抜く  
ビジネスを支える業務・制御システムの提供

流通業、金融業、サービス業、製造業  
ネットビジネス、社会インフラ、通信、  
教育・文教、医療、官公庁 等

ネット時代に対応する  
先進ソフトウェア・ハードウェアの提供



お客様のさらなる  
・付加価値の向上  
・新たなビジネスの創出  
・競争優位性の強化

高付加価値事業構造への挑戦と創造

様々な資産・  
ノウハウ

様々な資産・  
ノウハウ

付加価値の高い  
プロダクト・サービス

国内各地域  
グローバル展開

最新ICTの利用

ICTに関する  
あらゆるシステムサポート

HEMS/スマートハウス、デジタル家電

クラウド

EC



クラウド  
(C)  
(含ネット関連)

ニュービジネス



いつでも、どこでもつながる世界

オートモーティブ/ITS



モバイル  
(M)  
(含様々なデバイス)

RT  
(ロボットテクノロジー)



スマートフォン、タブレット



ニューデバイス

ビッグデータ

SNS

当社ロボットテクノロジー、プロダクト資産等による付加価値向上



## グループ戦略・グローバルビジネス分野の進捗状況

Group

平成25年4月1日  
ウィンキュラム ジャパン株式会社と  
株式会社ヴィクサスの合併会社ウィンクス誕生

平成25年2月19日  
ウィンキュラム ジャパン株式会社と  
株式会社ヴィクサスの合併承認

平成24年10月1日  
富士ソフトサービスビューロ株式会社\*  
と富士ソフトSSS株式会社\*の合併

平成24年9月27日  
当社が株式会社ヴィクサス\*へ増資

平成24年7月31日  
富士ソフトケーシーエス株式会社の全株式を  
株式会社だいこう証券ビジネスへ譲渡  
譲渡株式数 6,715株  
(譲渡価額 2,170百万円)

平成24年6月26日  
当社が維傑思科技(杭州)有限公司  
(ウィンキュラム チャイナ)\*へ増資

平成25年3月19日  
ウィンキュラム ジャパン株式会社が  
ベトナムに合併会社設立を発表

平成24年10月12日  
イオンディライト株式会社、  
ウィンキュラム ジャパン株式会社\*、  
株式会社東忠の3社、中国BPO事業を  
行う合併会社を設立

平成24年7月12日  
ShopEX社の提供する微商シリーズの販売開始

平成24年7月5日  
富士ソフト ソウル支店開設

平成24年7月  
ウィンキュラム マレーシア株式会社\*設立

平成24年5月17日  
当社、台湾Institute for Information Industry、  
Open Embedded Software Foundationの  
3者による組込み製品分野における包括提携

平成24年4月  
サイバネットシステムコリア株式会社\*設立

Global

※:当社関係会社

### moreNOTE<sup>®</sup>

moreNOTEは、Windows8タブレットやiPad/iPhoneで専用サーバーにアップロードしたドキュメントをいつでもどこでも、手軽に安全に閲覧できるサービスです。常に最新の製品カタログや提案書などを活用できるほか、画面操作を他の端末と同期できるペアリング機能やポインタ機能、ペン機能などで効果的な会議やプレゼンテーションが実現できます。

※iPhone・iPadはApple Inc.の商標です。



### みらいスクールステーション<sup>™</sup>

みらいスクールステーションは、学校の校内LAN、教室にあるデジタルTVやプロジェクターを活かして、デジタル教材の配信や校内放送、連絡掲示板、緊急災害通知、電子黒板を実現する教育ICTシステムです。リモコンひとつで子供たちに映像や音声教材などを楽々提示できるので、家電を扱う感覚で授業ができます。さらにテレビとタブレット機器を連携する授業にも対応します。



### palro (パルロ)

PALROIは、人との自然な会話を行うコミュニケーション知能と自律移動を実現する移動知能を併せ持つヒューマノイド・ロボットです。厚生労働省が定める介護予防機能を搭載したモデルを平成24年6月から高齢者福祉施設に販売開始しました。介護スタッフの忙しさを緩和すべく、平成25年4月からパルロ単独で介護レクリエーションを行うエンターテイメント機能を追加搭載し、平成25年度の拡販を見込んでいます。また、大学や研究機関と連携し、身体機能改善への効果や認知症高齢者介護への効能を測定しています。



## Topics

## 在宅勤務制度の本格導入

働きやすい会社の実現及びワークライフバランス向上、事業継続性(BCP)の確保、生産性の向上という目的のもと、平成25年1月より在宅勤務制度を本格導入しました。当社では、平成24年2月より在宅勤務制度の試行を始め、12月までに約700名、1月からの本格導入で3月末までに300名が在宅勤務を実施してまいりました。オフィスという場所にとらわれずに、現在のICT技術を活用して、効率的かつ効果的に勤務することが可能となり、新制度では対象を全社員に拡大しています。就業環境には、セキュアなりモートアクセス環境を用意し、タブレットやスマートフォン等のスマートデバイスと自社開発製品であるスマートドキュメントサービス「moreNOTE(モアノート)」を活用して、業務に必要な資料を閲覧します。

## インプラント型再生軟骨事業

独立行政法人科学技術振興機構(JST)の企業向け公募プログラム「独創的シーズ展開事業・委託開発」に採択され、耳の軟骨から作製する鼻への移植用再生軟骨の実用化開発を実施しております。この再生軟骨の細胞生存性と無菌状態を、三次元構造のまま長期間維持できる技術を世界で初めて開発しました。平成28年度の治験終了及び薬事申請を目指し、実用化に向けた申請手続きを推進していきます。

富士ソフト株式会社  
細胞プロセッシングセンター



## LTE対応 モバイル WiFi ルーター“FS010W”販売開始

平成25年3月18日より、NTTドコモ Xi(クロスシィ)サービスに対応したモバイル WiFi ルーター“FS010W”をMVNO(仮想移動体通信事業者)に向けて販売を開始しました。PC・スマートフォンに加えタブレット向けの設定ツールも搭載することで、あらゆるデバイスに最適化された画面で快適に操作できるようになっています。



# 連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期（第43期） 平成25年3月31日現在	前期（第42期） 平成24年3月31日現在
<b>●資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>52,425</b>	<b>49,019</b>
現金及び預金	12,990	13,420
受取手形及び売掛金	29,000	28,364
商品	437	340
仕掛品	2,101	1,662
原材料及び貯蔵品	27	31
その他	7,868	5,199
<b>固定資産</b>	<b>100,734</b>	<b>106,724</b>
有形固定資産	71,345	74,340
無形固定資産	7,801	9,334
投資その他の資産①	21,587	23,049
<b>資産合計</b>	<b>153,160</b>	<b>155,744</b>
<b>●負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>40,702</b>	<b>40,343</b>
買掛金	8,295	7,902
短期借入金②	6,351	8,869
1年内返済予定の長期借入金②	9,708	8,762
未払費用	7,427	7,281
その他	8,919	7,527
<b>固定負債</b>	<b>23,224</b>	<b>30,212</b>
長期借入金②	14,845	21,829
その他	8,379	8,382
<b>負債合計</b>	<b>63,926</b>	<b>70,555</b>
<b>●純資産の部</b>		
株主資本	86,174	83,390
その他の包括利益累計額	△ 7,241	△ 8,699
新株予約権	95	95
少数株主持分	10,204	10,401
<b>純資産合計</b>	<b>89,233</b>	<b>85,188</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>153,160</b>	<b>155,744</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期（第43期） 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	前期（第42期） 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>138,211</b>	<b>133,912</b>
売上原価	105,483	102,758
<b>売上総利益</b>	<b>32,727</b>	<b>31,153</b>
販売費及び一般管理費	25,378	26,155
<b>営業利益①</b>	<b>7,349</b>	<b>4,998</b>
営業外収益	1,216	499
営業外費用	520	942
<b>経常利益②</b>	<b>8,045</b>	<b>4,556</b>
特別利益③	355	41
特別損失	906	278
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>7,495</b>	<b>4,318</b>
法人税、住民税及び事業税	3,090	1,355
法人税等調整額	154	1,005
法人税等合計	3,245	2,360
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>4,250</b>	<b>1,958</b>
少数株主利益	247	254
<b>当期純利益</b>	<b>4,002</b>	<b>1,703</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結貸借対照表のポイント

#### ①有価証券

短期保有の有価証券取得により増加しました。

#### ②短期借入金・1年内返済予定の長期借入金・長期借入金

借入金の返済を進めたことにより減少しました。



## 連結損益計算書のポイント

### ①営業利益

売上高の増加及び採算性の向上と単体における販管費の抑制に加え、のれんの償却の減少も寄与し、大幅増益となりました。

### ②経常利益

持分法適用関連会社の投資損益の改善（エース証券株式会社前年同期差+758,013千円）が寄与しました。

### ③特別利益

富士ソフトケーシーエス株式会社 株式の売却益（284,266千円）を計上しております。

## 配当金について

平成25年3月期の期末配当金につきましては、通期業績の結果を踏まえ、1株当たり13円（前期 同10円）とさせていただきます。

## HPのご案内

当社のHPでは、IR情報やプレスリリース等の最新情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。

<http://www.fsi.co.jp/>

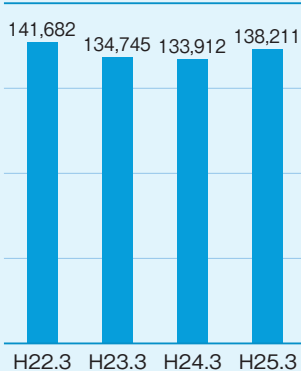


有価証券報告書、四半期報告書については、当社HPの他、金融庁の運営するEDINETでもご確認ください。

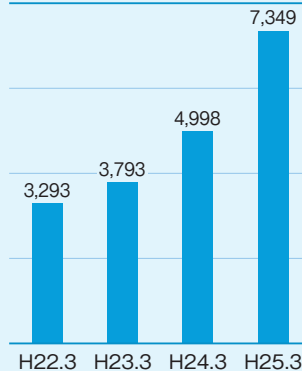
<http://info.edinet-fsa.go.jp/>

## ■財務ハイライト(連結) Financial Highlights

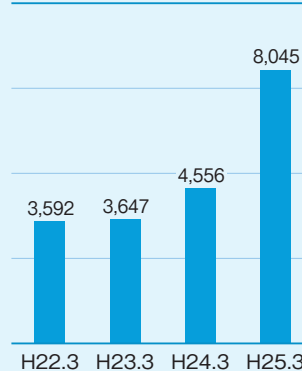
### ●売上高(単位:百万円)



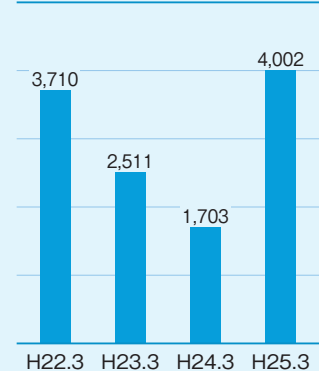
### ●営業利益(単位:百万円)



### ●経常利益(単位:百万円)



### ●当期純利益(単位:百万円)



## 1. 全日本ロボット相撲大会<sup>®</sup>、高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会

当社は「ロボット作りを通して『ものづくり』の楽しさを知ってもらう場を提供する」ことを目的に、ロボット競技大会を毎年開催しております。今回で、「全日本ロボット相撲大会」は24回目、「高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会」は8回目を迎えました。

平成25年2月17日に神奈川のパシフィコ横浜で開催された高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会では、全国70チームのエントリーの中から、各都道府県で選抜された29チームが出場し、全国制覇を目指して熱戦を繰り広げました。優勝チームには文部科学大臣賞、優れた技術力とチームワークを発揮したチームには経済産業大臣賞が授与されました。

全日本ロボット相撲大会においては、世界一を決める決戦の場として、海外でのロボット相撲大会を公認大会とするなど交流を深め、優秀な海外選手の参加を拡大してきました。

今後も、ロボット相撲大会を世界大会へ飛躍させると同時に、世界中でロボット相撲大会を通じ「ものづくりの楽しさ」を知ってもらう場を提供して参ります。



## 2. 障がい者雇用

当社は特例子会社である「富士ソフト企画株式会社」を通じて、積極的な障がい者雇用を推進しています。障がい者と健常者がともに「働く場」を整備することで、平成14年1月に法定雇用率1.8%を達成、その後は特例子会社制度の適用をグループ各社に拡大し、平成24年度は富士ソフトグループ全体で2.12%の雇用率となりました。同社は日本で最多の精神障がい者を雇用する企業として、そのノウハウを活かした就労支援プログラムを構築し、数多くの就労希望者をサポートするとともに、障がい者雇用促進に関する講演会やセミナー、年間で800名を超える見学者の受け入れなど、積極的に対応してきました。その他、子会社の「富士ソフトサービスビューロ株式会社」(会津データセンター)においても、平成24年11月に会津若松市障がい者雇用優良事業所顕彰事業 会津若松市長賞を受賞しました。

## 3. 復興支援への取り組み

平成24年11月29日、当社社会貢献室は、岩手県奥州市より特定非営利活動団体(NPO法人)「IT工房ひのき」の認可を受けました。これまで企業のCSR活動として復興支援に取り組んでいましたが、より円滑に被災地の自立支援を行うために岩手県奥州市に設立認証申請を行いました。自然災害時の被災地(以下「被災地」という)住民及び被災地の各種団体に対して、ITを活用した各種復興支援に関する事業を行い、被災地住民の生活再建ならびに被災地の経済復興に寄与することを目的とし取り組んでまいります。

平成25年3月11日、東日本大震災から二年を迎える節目にあたって、宮城県南三陸町のベイサイドアリーナにて慰霊祭が執り行われ、当社は「IT工房ひのき」とともに、当社のデジタルサイネージソリューションを活用してライブ配信の支援を行いました。



## 株式の状況 (平成25年3月31日現在) Stock Information

## 会社概要 Corporate Data

## ●株式の状況

- 発行可能株式総数……………130,100,000株
- 発行済株式の総数……………33,700,000株
- 株主数……………10,726名  
(前期末比 900名減)
- 単元株式数……………100株

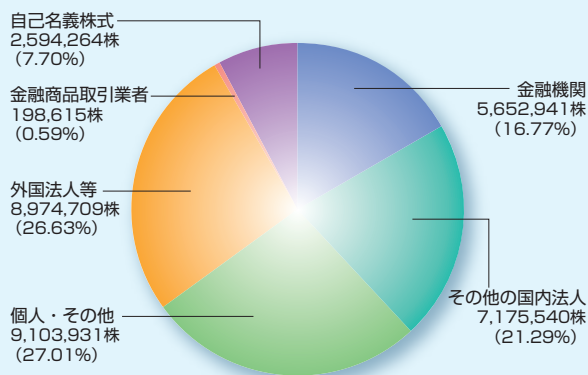
## ●大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント	3,723	11.97
有限会社エヌエフシー	3,228	10.38
野澤 宏	2,412	7.76
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシー リユーエスタックスエグゼンプテドベンションファンズ	1,496	4.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,390	4.47
東京センチュリーリース株式会社	1,138	3.66
新井 隆二	1,022	3.29
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	726	2.34
野澤 則子	629	2.02
富士ソフト社員持株会	624	2.01

(注) 1. 当社は、自己株式を2,594,264株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式を除いて算出しております。

## ●所有者別株式分布状況



## ●概要 (平成25年3月31日現在)

名称 富士ソフト株式会社  
 英語名称 FUJI SOFT INCORPORATED  
 本社所在地 〒231-8008 神奈川県横浜市中央区桜木町一丁目1番地  
 TEL: 045-650-8811 (大代表)  
 設立 1970年(昭和45年)5月15日  
 資本金 262億28万円  
 従業員 5,308名

## ●役員 (平成25年6月24日現在)

代表取締役会長執行役員 野澤 宏  
 代表取締役社長執行役員 坂下 智保  
 取締役専務執行役員 山口 昌孝  
 取締役常務執行役員 今城 浩一  
 取締役常務執行役員 竹林 義修  
 取締役 相磯 秀夫\*1  
 取締役 二見 常夫\*1  
 常勤監査役 生嶋 滋実  
 監査役 石村英二郎\*2  
 監査役 元石 一雄\*2  
 監査役 石井 茂雄\*2  
 常務執行役員 豊田 浩一  
 常務執行役員 佐藤 諭  
 常務執行役員 野澤仁太郎  
 常務執行役員 渋谷 正樹  
 常務執行役員 須藤 勝  
 執行役員 木村 宏之  
 執行役員 田原 大  
 執行役員 布目 暢之  
 執行役員 安江 令子  
 執行役員 内藤 達也  
 執行役員 白石 善治  
 執行役員 小谷 知哉  
 執行役員 原井 基博  
 執行役員 猪原 幸裕  
 執行役員 前川 政喜  
 執行役員 岡嶋 秀実  
 執行役員 新井 世東

\*1は社外取締役

\*2は社外監査役

## ■株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日(※1)  
期末配当基準日 12月31日  
中間配当基準日 6月30日(※2)  
定時株主総会 毎年3月に開催(※3)

(※1) 平成25年4月1日から始まる第44期事業年度は同年12月31日までの9ヶ月間となります。

(※2) 第44期事業年度の中間配当の基準日は平成25年9月30日となります。

(※3) 毎年6月に開催してありました定時株主総会は、次回より毎年3月に開催となります。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL : 0120-232-711 (通話料無料)

公告掲載URL <http://www.fsi.co.jp/ir/notify/>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 【配当金計算書について】

同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

なお、配当金を証券口座でお受取り(株式数比例配分方式)の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

## ■自己株式の取得と消却

平成25年1月22日開催の取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款の定めに基づき、1株当たりの株主価値の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の一環として、市場買付により当社株式の取得を行うこと、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することをそれぞれ決議し、以下のとおり実施いたしました。

### 〈自己株式の取得〉

取得期間 平成25年4月1日から平成25年4月23日まで  
普通株式 173,000株  
取得価額の総額 433,206千円

### 〈自己株式の消却〉

平成25年2月12日に以下のとおり消却いたしました。  
普通株式 1,046,000株

## ■富士ソフト公式Facebookページのご案内

平成24年11月30日よりFacebookに当社の公式ページを開設しました。製品・サービスに関する情報や、イベント開催などの最新情報を配信してまいります。ぜひご覧ください。

名称 富士ソフト株式会社

URL <https://www.facebook.com/FUJISOFT.japan>



富士ソフト株式会社 [www.fsi.co.jp](http://www.fsi.co.jp)

本社 〒231-8008 神奈川県横浜市中区桜木町一丁目1番地 TEL : 045-650-8811 (大代表)



この印刷物はベジタブル  
インクで作成されています。